慣用句の 例外を さがそう②

合わない ことばを 見つけよう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

同じ 体の ぶぶんの 慣用句の 中に、問ごとの きまりに 合わない ことばが 1つ まざって います。

①合わない ことばの 左の 番号を、右の 上の □に 書こう。

②その ことばは ほんとうは どの きまり?「きまりの 箱」の 記号を、右の 下の □に 書こう。

きまりの 箱

ア 話す・ことばを つかう	イ 気もちの うごき
ウ 考える ちから・考え方	エ ものごとの のび・とまり
オ 見る・見わける	カ 聞く・聞きとる

問1 口の ことば

口の ことばは「ア 話す・ことばを つかう」の はなしが 多い。

(1) 口を 開く ＝ 今まで だまって いた 人が、話しはじめる

(2) 口が 悪い ＝ 言葉づかいが あらくて、人を きずつける ことを 言う

(3) 口を 閉ざす ＝ 何も 言わない ように する

(4) 口を 尖らせる ＝ ふまんな 気もちを 顔に 出す

(5) 口を 利く ＝ 話を して、人と 人の なかだちを する

合わない ことばの 番号 □

その ことばの きまり □

問2 頭の ことば

頭の ことばは「ウ 考える ちから・考え方」の はなしが 多い。

(1) 頭が 固い ＝ 考えが かたまって いて、その ばに 合わせて 考えられない

(2) 頭打ちに なる ＝ ものごとの のびが とまって、もう のびなく なる

(3) 頭が 切れる ＝ 考える ちからが すぐれて いて、はんだんが はやい

合わない ことばの 番号 □

その ことばの きまり □

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句の 例外を さがそう②【こたえ】

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

合わない ことばを 見つけよう

まるつけ ロの ことばで 話す はなしでは ないのは「ロを とがらせる」(ふまんを 顔に 出す=イ)。「ロを 閉ざす」は 話さない はなしで、話す はなしの なかま。
頭の ことばで 合わないのは「頭打ちに なる」(のびが とまる=エ)。意味を 読み直して たしかめよう。

きまりの 箱

ア 話す・ことばを つかう	イ 気もちの うごき
ウ 考える ちから・考え方	エ ものごとの のび・とまり
オ 見る・見わける	カ 聞く・聞きとる

問1 ロの ことば

ロの ことばは「ア 話す・ことばを つかう」の はなしが 多い。

(1) **ロを 開く** ＝ 今まで だまって いた 人が、話しはじめる

(2) **ロが 悪い** ＝ 言葉づかいが あらくて、人を きずつける ことを 言う

(3) **ロを 閉ざす** ＝ 何も 言わない ように する

(4) **ロを 尖らせる** ＝ ふまんな 気もちを 顔に 出す
しぐさで ふまんを あらわす。話す はなしでは ない

(5) **ロを 利く** ＝ 話を して、人と 人の なかだちを する

合わない ことばの 番号: **4**

その ことばの きまり: **イ**

問2 頭の ことば

頭の ことばは「ウ 考える ちから・考え方」の はなしが 多い。

(1) **頭が 固い** ＝ 考えが かたまって いて、その ばに 合わせて 考えられない

(2) **頭打ちに なる** ＝ ものごとの のびが とまって、もう のびなく なる
のびが とまる はなし。考える はなしでは ない

(3) **頭が 切れる** ＝ 考える ちからが すぐれて いて、はんだんが はやい

合わない ことばの 番号: **2**

その ことばの きまり: **エ**